

婦人関係資料第三五号(一九五二年三月)

市民社会における婦人の機会と責任

労働省婦人少年局

婦人少年局長野職員室

家庭生活の向上を目的とする米國の婦人協会

〈Woman's Foundation Series〉では一九

四五年初頭にいくつかの委員会を任命して、家庭生

活の各分野の問題についての研究と提申を行わせた

本局はその委員会の一つである Committee

on Citizenship in the Home の報

告書を発表したものである。

労働省婦人少年局

一九五一年三月

婦人は市民的関心を持っているだろうか..... 3

何故婦人が政府や政治に参加しなけれは  
左らないか..... 4

困難は何か..... 7

何何に参加すべきか..... 11

何をなすべきか..... 14

市民社会における婦人の機会と責任

——シテイズンシップ委員会報告書——

〈米國婦人協会 一九四五年〉

(2) ◎ 委員会委員

議長 國一 カルフォニア大学校長 スパウエル博士  
 コルゲイト大学前校長 若原家カレン博士  
 シーザンガット氏 シンシナチ前市長 余義士 ハ  
 ミルトン 郡政治重鎮長 全国市政連盟前会長 ア  
 メリカに於ける地方自治の「挑戦と機会」 その  
 他の著書  
 フォンシヤー夫人 シラキニズ大学 公民科 股  
 長 助教授 ここでは婦人の責任という面を担当  
 する  
 デイヴイドソン氏 リステファン大学 版員 ここでは  
 市民性の訓練に關する研究を行う  
 モリソン氏 テクサス州 民間企業家  
 ウアンダビルト氏 アメリカカ兵士協會前会長 ニ  
 ユーヨーク大学 政治学部長 エセックス 郡共和連  
 盟長 アメリカ南東教育會議員  
 ワーナー夫人 民間指導者 アメリカ親善協會前會計  
 ウエヤハウザー夫人 セントポール 民間指導者 アメリカ  
 赤十字會 共同募金等政治的活躍  
 ウイルロビー氏 全国市政連盟実行委員

◎ 婦人市民憲章

婦人市民は  
 一 地域社会と國家の福祉に關心をもち、  
 地方及び國家の内部をよく理解してゐる。  
 二 家庭と社會に對する責任を遂げ、進んで果敢とする。  
 有能な婦人市民であるためには、次の知識が必要である。  
 一 責任ある市民として、アメリカ立憲民主主義の理  
 想を理解しようとする。  
 二 知立宣言や憲法の上の右立憲民主主義上の重要文  
 書の意味を理解する。  
 三 我國史上の大人物及び彼等が貢獻した業績を知つ  
 てゐる。  
 四 政府の仕組み、その組織及び機能を知らせてゐる。  
 五 地方政府、又は連邦議會や州議會に自分が出選し  
 た代表の業績を知つてゐる。  
 六 時事問題、警察の職務、國內及び國際的動向に關  
 する新しい知識を持つてゐる。  
 七 地域社会、州及び國家の政治に「影響」が及ぶべき氣  
 附く。  
 一 有能な婦人市民であるためには、次の行動が必要である。  
 一 一は市民として常に前へ出て立つことによつて知  
 識を振興する。  
 二 クラフや研究會で公共の自題に参加し討論を廣にする。  
 三 子弟進歩及び進歩者に立ちと投票する。  
 四 一は政治の實現を目的とする政黨又は無黨派グループに  
 加つて活動する。  
 五 投票を尊重し、民主的規則をきちと守らねばならぬ。  
 六 家庭生活とたゞ一は市民として行動し、實例と訓練によつ  
 てより、市民性の訓練と努力する教會、學校、その他、  
 地域社会の諸機關に好意と協力を示す。

二の外

市民社会に於ける婦人の機会と責任

婦人は市民的關心を持つてゐる。――

民主的社會では國家の消長は人民自身にかかつてい  
 る。今アメリカは國の存在を再び脅かす脅威を切り抜  
 けて来た。許りである。そしてこの危機はより我々は  
 男も女も共同の福祉への忠誠を新に呼び起された。戦  
 争の挑戦に答へたと同じ心がまえで、我々は平和の挑  
 戦に應ずる事が出来るであらうか。史上最大の努力  
 の一つとしてアメリカは戦争から立ち上りつつある。  
 今や我々に與つた課題は「我々はこの努力と勇奮  
 力を如何にばらばらにしようか」ということである。

来るべき年に世界の他國民より要求される重荷に十  
 分応じ得る程我々國內のデモクラシーは強力であるう  
 か。特にアメリカ婦人は戦時に示した忠誠と努力の  
 心慮を平和に於ても持ちつてける程。市民的關心を  
 持つてゐるのであるか。これはアメリカ市民た  
 る我々のすべてが直視してゐる問題である。殊に婦人  
 は、男子よりも市民としての役割が新しいといふ意味  
 に於て、デモクラシー運営の事業に全面的参加を求め  
 られてゐる事を感ぜなければならぬ。一九四四年の  
 全国調査では、男子は百人中七十人が投票してゐる。

にも拘らず、婦人は百人中六十人しか投票して  
 ない。その故のことも、例えは地方政治に必要左  
 改革のために外に出て活動するといふよう右事に左  
 ると、婦人が彼女の兄弟や夫に責任を取るのとは殆ど  
 おままりになつてゐる。市民クラブに加入はするが  
 至極ある婦人指導者は皆知つてゐる。研究と  
 討論だけに満足して實際活動からは尻こみするとい  
 うのが女性共産の弱點である。

それは女性が生れつき國や地域社会の福祉に男子  
 より無關心であるためだろうか。それとも単に民  
 主的成長の過渡期的現象に過ぎないであらうか。  
 二十五年しか経つていないのだ。しかるに男子は  
 この権利を百年以上も享有して来た。婦人はまだこ  
 の仕事に少しばかり不慣れである。だから先ず第一に  
 何故政府や政治に關心を持たねばならぬか。第二  
 に自分は何をすべきか。それが出来るか。そして最後に如  
 何にすべきかを示される必要がある。これらの事が  
 よくわかつてゐる場合には、婦人は必ず見事な仕事  
 してゐる。

例えはシンシナ子の婦人である。この市では婦人は活発に市会マネシヤープランのための後援運動をした。遂にプランが採用される。今度は団体組織として、一年一年一區劃一區劃と政治的仕事の手を動かす。改革グループに属する候補者を当選させるために努力した。シンシナ子の前市長及び市のマネシヤーは口を揃えて、もし婦人の力がなければならぬ。シンシナ子の市会マネシヤー政治のすばらしい業績は決して見られなかつたであらうと認められた。

何故婦人が政府や政治に参加しなればならぬか

婦人は家庭と家族はより大きな原動力と幸福を導く事業に對しては、常に自身の協力を精進してきた。しかし今日の社会組織の下では、家庭や宗教の運命も、地域社会や国や、広くは、世界の動向によつて決定的影響を受ける。例えは市や郡が腐敗した、或は非能率な指導政策の犠牲になつてゐる時、家庭による市民精神を育てるのは進歩は、子供が母から正直と公金の使ひ方を教つても、市町村に打ち込まれる賄賂や公金浪費のお手本を見せつけられるは、一体この二つを、どう矛盾なく存せ

べきことか出現するかの、或は国家的又は國際的観点から見て、母が息子のためによい家庭をつくつて、良心的に精進したとこそ、世界大戦がすすつた度期動にやつてきて、息子が成年に達するや否やさうなつていられるのでは、一紙何れも満進の甲斐があるのか？ それ故に、よりよい政治、より賢明な政策のために婦人が動くという二つは、先ず第一に彼女の家族と家庭を守つてゐることに在るのである。第二にも、婦人が地域社会の向題に積極的に参加するならば、この实例によつて彼女は子供達に積極的の市民になるように励ますことが出来る。母を生活した实例として持つてゐる息子や娘は、人々が自由と幸福に力を合せて生きてゐる社会を維持するため積極的責任をとりとするのであらう。すべての母が知るよすがに、子供というものは教育よりは實際に影響されやすいものである。民主政治に積極的の市民として参加することの必要をいくら學校で説いても、もし子供が家庭で实例によつてこの大切なリッスンを學んでいなければ、馬の耳に念仏である。

第三に市民活動に積極的に参加してやれば、それが思つたよりすつと面白く愉快なものであることを婦人は見出すであらう。成程このことは推測もあれば

失望もあるには違ひない。しかし同時に報酬もありそれに伴う大きな利益がある。積極的の市民活動をする婦人は、自分が「車輪の回転」を助けてゐるという満足感を持つ。彼女は深山の異人々に会い、新しい友や知人を持つて、生活に新しい興味を見出す。そして彼女は自分が社会生活の一部であるという「所属感」を持つてゐる。

最後に彼女は、自由政治の民主的原理を守るため活動してゐるといふ満足感を得るであらう。「平和」の愛護心は戦時の愛護心より難しい。しつこくこれがよく云われる。アメリカの民主主義は、結局市町村や州や国の市民政治の生活に市民が積極的に参加することによつて維持されなければならぬ。

そしてその参加は効果的である。市は知識をもつてゐる誇りや、自ら進んで行動し、自分は何に行動するかを知らなければならぬ。我々市民教育の一大柱は事實を知るといふ。其の又を強調しすぎて、實際に賢明な行動をする必要を強調し足りなかつたことである。婦人市民が政府のことにどうもよく知つていようとしても、その知識が何らかの行動を導き出さなければ無意味である。いさゝかの願ひを心の中に持つてゐる婦人は自分より教が豊かである。彼女たちはよい

政治を欲してゐるに違ひない。しかしそれを實現させるためには如何にすべきか？ 正しく能率的な民主政治は、實際に行動し、市民の願望を行動で裏づける人々の努力によつてのみ達成される。

よい政治——殊に自分達の市町村の——はどんな意思を有するかを思慮深く吟味すれば、行動への意欲が呼び起されるはずである。市民としての責任を全うするために努力を対しては、教養の義務がある。その中には家族の福祉や、家庭の生活水準に直接影響を及ぼすものも深山ある。市や郡がうまく統治されてゐるときに、婦人の期待出来る意思とは異体助たどんなものであらうか？

一 子供達が教育のよりよい機会を持つ。一般によい地方政治はよりよい教育を意味する。納税者の税金は、不必要な政治的にくつぱしを暮らかわりによい先生を雇ひ、設備を充実し、施設を改善するための使われる。この地域社会では税金の行方について人々がいろいろ注文を述べることが出来る。

二 家族がよりよい健康の保護を受ける。つまり、統治されてゐる地域社会では多くの診療所を設け、マナーゲットや公衆食堂の検査をどしどし行ひ、清潔な飲用水を供給し、貧民のための保健対策を講ずる。

(6) 児童診療所が多しことは、幼児死亡率の低い事を意味し、養育制度がすぐれていることは病気が少いことを意味する。

三、児童が多くの運動場とよい娯楽施設を持つ。その地域の民主的感情を反映させて、税金の一部はこれらのものに振りあてられるだろう。

四、家庭がより安全になる。能率的な警察が罪をなくす。又火災による損失と消防署の能率とは密接な関係があるものである。

五、その地域社会で正しい原理が行われていることを子供が見る場合には、母は子供に正直と高潔とがはずつと容易に教えられる。反対に、子供が市町村の政治的腐敗や不正のお手本を見せられている時には、子供が自分の道徳的基準を形作る上に於て、このような条件が、母の試みる性格形成の努力よりも強い影響を及ぼすだろう。

六、家庭が毎日の仕事に出掛けるのがたやすく便利になる。よい地方政治は通常より舗装道路、よい運輸機関、よい公共施設、よい交通計画と規則を意味する。

七、家庭と家族が経済的に安定する。よく統治された地域社会は商工業を奨励し、それ故に家族のパンを稼ぐ人々に確實な就職口を供給する。失業率も

会社や従業員が公正な税率と公共資金の税金を支出の意思に洽する事が出来る地域に根を下せようとする。

八、家庭が高い生活程度と、美しい環境を築くことが出来る。よい地方政治は通常納税者が少い税を納め、その代償として家山のよいサービスを提供することを目指す。そのどちらも家庭の主婦としての家族に高い生活程度を育していく。九、最後に、民主主義の原理が真に行われ、そのため各市民がなくてはならぬ役割を演じている地域社会に柱を立てる事を、知って、家族の首をなげき満足を感じる。

よりシライズンシツカをこのように明確具體的友誼であらわす事は、女性がシライズンシツカに基本原則を保持している事は疑もない。女性は政治に利害関係を持ち、聰明な女性は勿論より政治の約束する恩恵に深い関心を抱いている。只彼女が心に留めておかななくてはならぬのは、それらの恩恵は、彼女と同様他の人々と共に、彼女の責任を果すことによつてのみ得られるのだという事である。單なる願望や、政治理論を二ねることだけでは恩恵は得られぬ。

### 困難は何か？

市民としての全責任を勇断に考え始める時、婦人は

は種々の困難にぶつかるであろう。自分が女であり、

女は伝統的にせういう市民的責任を引受けて来たか

うかと思ふ事によつて彼女自身の心の印にまず困難

が創られる事もある。最近まで女性は政治生活に

積極的参加をした事はないからな。又

家庭の要務の圧迫や家族の人々の反対で困難が起る

事もあるであろう。

最後に、婦人の政治的活動を男子の場合より困難

にしたがふ地域社会、全体の態度や政治生活の複雑性

性から困難が起る事もある。しかしこれらの困難は

それだけにとどまらぬ。一級の婦人は

そのために意識を喪失してしまつたやうな場合、

ここでこれらの困難を克服してあげよう。

一、個人の又は、私的困難。政治的困難は男

子の受持ちという回つた考えをそのまゝ受け入れて

政治に関係しない一級婦人が多い。中には政治は

女らしくない不愉快な労苦への部分を担うものかと思つて居る人々もある。多くの婦人が政治を社会的に女には不向きなものと考えられている。

一部の婦人は、よい政治はどんな具體的報酬と与えるか、自分の積極的参加がそれを実現するため如何に役立つかを示されればすぐにこの種のちがうところをひき捨てることかできる。しかし地域社会の市民的政治的責任を決定する上での自己の機会と責任に責任を認める人はまだ、一歩出ない。いわゆる「文化活動」を支持することは勿論その限りに於ては、事である。しかしよい政治を積極的助長するといふより地域をよきとしより大事を仕事をする事かそれによつて正当化されるわけにはいかぬ。アメリカの有利権人口の五十一パーセントが女性であること、選挙の投票人の六十五パーセントが女性であること、及び州では選挙の八十五パーセントが女性の手に乗中される事を知るならば、婦人たちはも自分のこの方面の責任により大まか自己責任を持つた責任を負

二 家庭的条件による困難

自己の考えを通過させるという事の外に、他の人々の同情のよい考えに對処しなればならぬ。對もある。例えは、善悪ある友や知人から「女性の持ちは家庭である。女性に家庭に留るべきである。」というおのほけの反對が出ることもある。彼女自身も夫が第一の反對者の仲間かも知れない。過去に於ては男性は尊を政治に「掛り合はせよ」と尊の威嚴や勢力を無くすると考えられた。尊を失った夫は心では「上手はお料理や、一日の疲れを林の心地よい部屋で癒したい。夜更けの傍に新聞とスリッパを取り揃えておいてもらいたいのである。」(社会学的にはこのより困難を伴うことはやましい。——理論的には——)しかし自分自身の夫がさう感ずる場合には問題は必ずしもやさしくはない。しかし少くともこれだけの事は夫一做について云えるだろう。——夫達は次第に啓蒙されつつある。普通彼等は尊の人格を尊厳させ、自己の尊厳に對する慾望を満足することは望まない。尊の威厳と尊を保持するために、四つの壁に庇護されている生活よりもっと広い自己表現の分野が必要だといふ事を彼等は認識しつつある。

婦人が家庭を通じて社会に貢献する事は確かに感

本的に重要であるが、今日では家庭というものの意義を認めることだ。人々、難しくなつて来ている。家庭が食や、服や四放の壁の中を家庭と考へて一生を送つてきた母は、家庭の君の生活中心なものは家庭に居るべきである。彼女が外に移動して、彼女を置き、家庭の興味は外に移動して、彼女を置き、家庭の君は何かの場所でもっと面白い仕事をしていく。女性の持つ場所は家庭であり、家庭とは四つの壁の中に居るべきであるといふ觀念に居るとして甘んずる婦人の運命はこれである。

しかし家庭の条件にはもつと深刻な困難がある。市民活動に對して婦人が人々に、意欲を持ち、心からの関心を抱いていても、着せ、食べさせ、住まわせなければならぬ夫と三人の成長しつゝある子供を抱えていては、他の責任を引受けなければならない。時間がいれば程残されようか、成程の数は、現代の主婦の運命を彼女の祖母よりはすつと進化させた。けれどまた四五人の子供の母が、他に余分の仕事をして、ひまど、ひまど、程の十分は時間を与えてくれぬ。

しかしそれら、このように大家族といふものは、この困難に對する部分的ではあるが注目すべき解決がある。

今日典型的なアメリカの家庭の直面している危険は多くの場合子供達が家庭の共同福祉に對する責任感を持つ事に落ちつゝあることである。母や父が必らず家庭を維持している向に子供は映画に行つたりラジオを聞いたりしている。このような態度は母にとつて重大な問題である。同様に子供にとつても重大な問題である。民主的生涯に必要の基本態度を形成するに欠くことの出来ない市民性の訓練や、協力的努力がなされずにされているからである。母も家庭に於けると同じく地域社会に對して大きな義務を負うものだと確信するにつれて、アメリカ人は子供達を家庭の社畜に附加させるようにするであろう。さうすれば、母と同じく子供達も利益を受けるのである。

確かに、家庭で受ける市民性の訓練は大切なものはない。もし子供がよい市民として生きることが家庭で學んでいるならば、彼が二十一歳に達した時に、何かの應答でこの技術を突然に身に付けることを見望むわけにはいかない。それ故に市民社会と政治に関心を持つ母は、必ず彼女の第一の責任は子供をよい市民にするよう家庭をつくる事だと理解するのである。そして考え深い母は、この社畜が如何に大きなものであるかを疑わぬ。

しかしそれにしては彼女がこの大きな仕事を成功させるには、地域社会に於ける政治を助長しようとする努力によつて増すか、減るかという問題が此で来る筈である。実際に、地域社会に於けるそのような努力が、彼女の子供をよい市民に育てる仕事を成功に導く素質を提供する事は疑いがないのは、なからうか。

家庭的条件のもつた困難を克服するには、ならぬ社会のために家庭や家庭に對する時間を使い、若く婦人に對して一部の人は自分自身に満足する訓練をもたせ、他人の子供をよい市民にしようとするといふのである。——政治活動や市民活動よりも、自分

家庭的環境とは、既に指摘した通り、もはや四放の壁の家庭ではない。それは子供たちが往々地域社会、彼等の道り学校、彼等の見る映画、彼等の交わる

友愛がある。婦人が地域社会自体の改善に逆心を  
 抱けて始めて、婦女が子供に抱いてる理想は知力を  
 養ふのである。何故なら子供達の生活は、右にあ  
 だ響きの影響や、親がその一部である地域社会の  
 道徳的水準によつて形成されるからである。子供達  
 は彼等の家庭内が市民的責任が果されてくるのを見  
 て始めて、よい市民精神の重寶を心から信するも  
 のである。市民精神の教育においては、美辞麗句は  
 実用、適用に比し遙かに効果が薄い。

この意見を裏と、家庭的条件には多くの婦人が種  
 種約、種々の市民性になるのを妨げている幾多の  
 困難があることが分る。それらはあまりにも大きく  
 のしかつていて、時にはどうにもならない感じさ  
 え感させる。しかし地域社会の市民性の問題に対す  
 る根本的興味や関心を欠いていゝという第一の危険  
 に比べれば、それ程重大ではない。

三 地域社会の状況による困難

地域社会の影響力も時に婦人が積極的の政治生活  
 に参加する事を妨げて来た。友人や隣人も、市民意

何処にもない。婦人の努力と奇身は痛切に要求され  
 ている。何をしなければならぬか、それは如何に、  
 効果的になすべきかを見出すことは、婦人が自己に  
 求むる、地域社会に、そして國に負う義務である。

一 如何に参加すべきか

まず地方地域社会から始めるべきである。我々の  
 政治制度の根はこゝに下されてゐる。我々の町や村  
 で起る政治的の事柄が州や國で起る事を決定する。  
 しかも各州の形勢におけるアメリカの重層性ないよ  
 うなまじつゝある事を考へるならば、個々の地域社会  
 に起ることは固様に世界のものに起る事を決定し  
 てゐるといふやう、我々の民主的自治政治が培養を  
 吸収するのは地域社会からであり、個々の市民の努  
 りが最も効果的であるのも地域社会である。  
 この努力は協力的なものであれば、大きな結  
 果を齎す。それ故婦人が積極的の市民としての役  
 割を演じようとするときには、同じ愛持の人口と協  
 して働くようにすれば、行く行く行くものである。

職を持つ婦人の執業を理解せず、他人の生活に興味  
 を持つおこぼれかといはれ、批評した。地方政治の  
 指導者も、政党のする事にあまり好奇心を承す婦人  
 には水を掛けるやうな事があった。又政党政治の積  
 極性は、特に参加したこの段階では、控有感を承  
 する事かしばしばである。

しかし今日では、これらの困難の大部分は消失し  
 たが、薄れゆく兆しを見せている。この社会的態度  
 の改善は、まさに婦人自身がこの分野でなして天  
 奇身に預るといふべきである。今では婦人がよい政治  
 態に活動することは、友人や知人に対して不体裁だ  
 あるどころか、信望を得ることであり、又大きな自  
 己満足を生ずるやうになりつゝある。政治的団体も  
 政治活動に興味を持つ協力を申し出る婦人を参加せ  
 ることが原則に存した。賢明に投票する事、地方や  
 州の政治機能を理解する事、更に改善の世帯を刷新  
 を見定める事、を容易にするための各種の改革が行  
 われる時には婦人自身も一役うけもつた。

結局のところ今日婦人が自己の市民的責任を全  
 して、自分や家族のためによりよい地域社会を建設  
 する事に活発に賛同に参加しを望むといふ理由は

一、政党、先づ第一に政党である。それはいや  
 に複雑で扱いにくく、見えるが、政党の最少単位は近  
 隣のレベル——地区委員会である。この委員会は地  
 区委員長、又はリリーターに率いられて、リリーターは  
 分たけで、或は他の人口との協力をよつて、党政  
 のため、又は公共の役員に候補者を立てる上に、こ  
 の地区はどんな役を演ずべきかと決定する。多くの  
 婦人が(男子に)ついても同様であるが、選挙の時立  
 てられられた候補者に不満を持つ。しかしこの人た  
 ちは予備選挙の時より候補者を選ぶために殆ど何も  
 してゐない。何お悪いのは、彼等の考えと理想を真  
 に代表する筆の地区委員長の選挙にさへ無関心があ  
 る事だ。全く地区委員長の名を知つてゐる人すらこ  
 の僅かといふ始末である。

実際に婦人が党内の力を持つのは難しいことだ  
 はない。例えば地区予選や地区委員長選挙に現われ  
 た数字を見るがよい。表れは程少数の人と参加し  
 てゐる。三、五、ハートセントに上らぬ事すらあ  
 る。長たしい小規模規定で、とても自治とは云えない。

このやうな実情であるからより意図を持つた男社  
 の小グループにとつて委員長の候補者を選び、協力

して行動することによつて実際に地区委員会を切り  
まわすことはやさしい。

二、無党派グループ。二大政党が重要問題を回  
避したり、何時も貧弱な候補者を立てたりしている  
間に、大小さまざまの無党派グループが国中の地域  
社会に組織される。これらのグループは時に特定の  
仕事をすすむ為につくられる。例えば「ミミ」ウオー  
カーの呪われた統治の後に行われたニューヨーク市  
長の改選選挙の場合がそれだし、ミンニナポリの政治  
的腐敗を救うための近代的流線形政府形態を採用した  
場合がそれである。

ミンニナポリ憲章委員会は、五人の市会メンバー  
を一般比割代表制によつて選出し、市会—マネジ  
ヤ—プランを採用する事を目的として運動を展開  
するため組織された。しかし委員会は最期の勝利  
をよめた後に、その收獲を守るためには永続的な  
団体になる必要がある事を認識した。そこで実際に  
地方政界—無党派地方政党となつた。といつても  
官吏の情実任命や不正入部に興味をもつような意味の  
の党ではない。この委員会もミンニナポリの婦人の積  
極的支援がなかつたら決して成功しなかつたであらう

左のたが、この時トレド市政連盟が警鐘を鳴らした。  
市会の開かれた日に、憤慨した男女の大群が市会の  
各室へ広がり、階段、そして周囲の街路迄を埋め盡し  
た。市会は遂に心を改めた。

その他、婦人有権者同盟やPTAのように、  
古い政治の推進のために婦人がいらしている活動も  
している効果的且影響が大なるグループがある。恐  
らくこれらの団体は市民活動団体というよりは研究  
団体といつた方が正しいかも知れない。しかし地方  
婦人有権者同盟はしばしば重要なる市政改革に指導的  
役割を演じ、背後から力を加えている。同盟は団体  
としては特定の候補者を支持してはいないが、近代知  
名都市憲章、新しい州憲章の採用やその他の政治的  
改革を実現させることに努力している。例えば多く  
の地方連盟が市会—マネジヤ—プランのための市  
政憲章採用に即力している。ウイスコンシン州のス  
ーペリアーでは二三年前その種の運動が成功に導い  
たし、ミズーリ州婦人有権者同盟は一九四五年の新州  
憲法採用に際して指導的勢力であった。

近年に於けるすべての地方改革運動において婦  
人は常に偉大な勢力であった。彼等は諸議員を回覧

他にも婦人が重要な仕事をして来た幾多の市民  
団体がある。その中には市政の近代化の能率の形態の  
採用を特定の目標として持つていているものもあり、持  
つていないものもある。シアトル市政連盟、ニュー  
ヨーク市民連合、ミカゴ市民クラブ、クリーヴラン  
ド市民連盟、フェニックス政治協会、ロウエル納税  
者協会等が好例であらう。特に大都市にはシエネク  
タテイ、ピエローのように政治研究機関もある。  
又全市の市民団体がなくとも殆どすべての  
地域社会に、婦人が効果的に活動出来るような近隣  
のグループが数に於ける。このような近隣グループ  
は、何か共通に興味を持つ特定の目的のために共同  
活動をする事によつて、しばしば全市の市民団体を  
結成する事が出来る。

このような全市民的団体は一種の公共の善の役  
をする。その委員や役員は市会の日々の動きを監視  
して、会員連や新聞に重要運動を欠かさず報道す  
る。時には差し追つた問題に対する賛成或は反対の  
デモンストレーションに市民をけん引させる。監視  
の効果の好例が三三年前トレドに起つた。監視  
グループが市政マネジヤ—を監視しようとした

レたり、印刷物を家から家へ配布したり、各戸毎に  
ベルを鳴らして市会への市民の情報を知らせる歩いた  
り、自動車や投票箱を投票所へ運んだり、家庭に縛  
られていた婦人のための幼児の世話をして投票所へ行  
かせたりしている。自覚をえすれば婦人はその忍耐  
と持久力の故に、又引込警察や自意識を振りすて、  
健全な理想を支持しようとする意欲の故に、男子不  
りもむしろ効果的な政治活動者となり得るのである。

三、独立の活動又は個人的活動。しかしもし地  
方市民団体がない場合には、政治問題に参加したい  
と思ふ婦人はどうしたらいいのだろうか？

彼女が他の婦人達と共に婦人有権者同盟の分会  
をつくることを出発する。それには近くの地域の同じ  
まう分会の助言を求め、州文館に問い合わせ  
ればよい。もしそのどちらも公衆図書館のフリンスト  
ン大、シヤウソンプレイス七二六の全口婦人有権者同  
盟に一報すれば、印刷物と助言を得られる筈である。

又、家庭、学校、その他に男女の友人をつくり  
地域改良や、そのための団体の必要について討論  
する事も出来る。そのような団体は単に団体をつく

(14)

りたいという願望から行く、はつきりした欠陥、不正を正そうという決心から生れるべきである。地方団体は使命と明確なプログラムを持つた、けがなければならない。さもなければ長続きする筈はない。そういう地方グループに情報と援助を喜んで与える全国的団体はいくらもある。

適当な地方団体が存在せず、新に結成するよう希望した世帯も見込みない時でも、きまつた形式は取らないが、それに劣らず効果的な仕組はいろいろある。新聞の編輯者に宛てた手紙から種々の建設的行動が生れていく。市長、市政マネジャー議員との相公駁にある人々は公衆の批判や疑問に對して敏感なものである。被害のうちの一人にあつた手紙一個のものからしろ、近隣グループ、からうのがあまりにしろ、によつて、み取りの迅速化、道路の修繕、街燈の改良、遊樂の能率増進、その他の改善が実行された例は無数にある。たつた一人の伯人といえども決して無効ではない。

地域社会がその空気に於いて完全無欠でない限り、この種の活動の機会はいくらでもある。うるやい世話やきとして有名になる危険は、事實をばつさ

一 地方自治や地方的問題は州や国の政治から徹底的に切り離されるべきである。あまりにもしばしば地方的問題の決定や、地方議員の選挙が、全国的政界の投票とか加盟とかを基準にして行われ、個人としての功績が考慮されてはいない。

二 市や郡は州議會のきめられた規則から解放されるべきである。地方的小地区自身の規則を獲得し、保つために憲法を改正しなければならぬ。

三 政党内部の最大の敵、メリット・システムが憲法の承認によつて確立されなければならぬ。そして公衆の支持と主張によつて、効果的な機能を發揮出来るよう寸分の経費を与えられなければならない。民主的な能率増進のためにつくられた他のいろいろな制度と同様に、メリット・システムもそれを支えるようとする強い感情と、個人の実績に基く選抜や任期向の保障に對する絶えざる主張がない時は、歪められ、應用される危険がある。

(15)

四 投票用紙の形式は大切な問題である。婦人は意見が正しく表明されるより形式を重視しなげればならぬ。裁判官や教育委員その他公務の

りと辨え、自己の目的の重要性に確信を持つことによつて避けられる。しかし乍らもしさけられぬにしてもこの危険は、公共問題處理に興味を持ち、責任の一半を擔うことによつて達成出来る利益に比べれば問題がない。責任ある市民存心は、非難に屈して自己の義務をゆるがせにする事はないであろう。

理論的にはどんなに我々の民主的政治形態に誇りを持つていても、実行となると心息が落ちるものである。デモクラシーの一大長所はそれを実行することによつて人民の意思が成長し進歩するということである。それは、市民運の改良の知能を表現させようとする営みである。地域社会や口には落ち着いた判断を便害とするような問題が始終おさるものである。多岐と変化する問題は絶えずいかに改善の必要を告げる。勿論その必要は各地域社会毎に異なるが、いやしくもよい市民性に関心を持つ婦人は、自分の地域社会特有の必要を知り、政治機能の改善をせよと運動を支持すべきである。

心から興味を持つ人々のために、多くの地域社会に是非とも必要なる形の故々を次に挙げてよう。

選挙には無党派の投票が行われなければならない。マサチューセッツ州投票用紙又は假票別投票用紙は、假票別投票用紙よりも、特定の假票に對してはいく候補を選ぶに便利である。教員への投票や競争を二つちやに含めたほうは大衆投票用紙は投票者がかまし出しやすい。小形の投票用紙は政治改善のためによい判讀となる。比例代表選出の際のヘア、システムは眞剣に争闘を許すべからぬ。今迄に用いられた地方選挙では非常に効果的だつたのだから、

五 郡市及び府の憲章が新しい状態や要求に添ひ得るよう常に近代的手法のものにするための努力が拂われなければならない。

六 政治や市民性に關する学校教育がもつと實際的な性格を持つよう婦人は主張すべきである。現在行われているところでは、市民性に關する授業は大抵理論的、哲學的、抽象的で退屈である。

七 選挙方法が改良されるべきである。多くの土地で不正選挙がけがこり、選挙民の意思が投票数のインテリキチ勘定や投入によつて裏切られていく。選挙は、政党の指定人よりもメリット・システムの運用

家によつて管理されるべきである。多くの土地で、選挙手続が政党の手に握られてゐるため、無所属の候補者は予備選挙で勝つことが殆ど不可能な状態である。

八、州や郡の政治形態が、憲法や行政規則の改正を媒介として修正される簡素化するべきである。州や郡の政治組織はしばしば古い昔の延長である事がある。このうちものは近代的要求を充つ事が出来な

九、各地方に、独立無党派のしつかりした事実調査機関がなければならぬ。そしてそれらの機関は事実を調査する以上の事はすべきでない。見付かつた事実から何らかの結果を引出す事には躊躇すべきでない。しかし市民は政治活動の海に乗り出す前に、劣化や改善を示唆する基礎となる事実を持つていなければならぬ。

一〇、よい政治をめぐす諸機関を集めた地方協議会が必要である。これは、既に分つてゐる情報を得るために、研究や努力の重複、不必要な浪費が起るかも知れない。これら諸機関の聯合協議会による行動は個別的努力よりむしろ効果的である。個別的努力の統一調整は彼等の力と影響を倍加する

一一、政党には肉骨なく、人格と能力を基準としてよい裁判官を得、取つ事に努めなければならぬ。裁判官が選挙されるべきか指名されるべきか、期前はどれ位か、又はミズリ州の如くに選挙と指名を結合した方法で選出かといふような事は重要を研究テーマである。いずれにしても司法の官職は政治的官職ではない。

一二、地方的な、或は更に小さな地域的を計画と区域分けが、秩序的な地域社会運営には欠くことの出発点である。計画、区域分けに関する諸機関の支持もまた不可欠である。

一三、婦人が陪審員としてのサーヴィスから除外されてゐる場合、或は投票者のみがそれを許されてゐる場合には、男子同様婦人も陪審員としてのサーヴィスに携わらうべく努力をしなければならぬ。婦人が陪審員になる事を求められてゐる州では、その責任を担ふべきである。それは市民としての義務を義務であるのみならず、司法的手續の力をもつて勉強するより手段である。

一四、最右の、そして非常に大切な事は、デモクラシーの理想と価値についての永続的な教育である。地方自治の重要性と価値に対する一般の理解がよい

いよ高まらねばならぬ。この理解なくしては、よい政治のための努力は一時の努力にとどまるに過ぎぬ。地方自治が民主的機構の基礎であること、デモクラシーが安全であるためには、それはすべての地域社会で実行され、腐敗や欠陥に攻撃をこらへる余地を残さなければならぬ。悪い政党地方協議機関がはびこる事はデモクラシーへの脅威であること、デモクラシーの目的を達成するためには、選挙民の意思が表現され、人民の代表者が尊敬を受けるべきこと、これら確信がよい市民の良心に刻みつけられねばならぬ。人々がこれらの確信を得るため、又これらの理解を持ちつづけるためには、永続的な教育計画が必要である。そのような計画は、その計画の重要性を認識してゐる市民達の鋭い関心と積極的参加によつてのみ保証されるであらう。